

高齢運転者による事故を^{ゼロ}0に

近年、高齢運転者による事故が相次ぎ、社会問題となっています。2019年上半期の警察庁の調査では、高齢運転者が起こすハンドルやブレーキの操作ミスが原因の事故の割合は、高齢者以外のドライバーの約3倍となっています。加齢による認知機能や運転技術の衰えが背景にあるとみられています。運転免許証の自主返納などを検討しましょう。

市では7月から運転免許証の自主返納と、後付け安全運転支援装置を設置した方への助成制度をスタートします。今回は、2つの制度の概要についてご紹介します。

申請の手続きについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、こちらのページに掲載している2つの制度については、窓口での申請受け付けを当面の間中止します。申請受け付けは、郵送のみとなりますのでご注意ください。

申請書は交通防犯課、各地区センターで配布しますが、市公式ホームページからダウンロードすることをおすすめします。ご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

運転免許証を自主返納する方を支援します(7月から)

対象

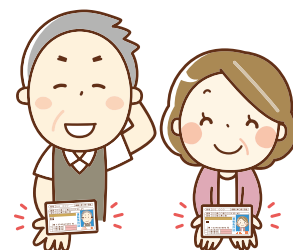
- 市内在住の満70歳以上の方
- 2年4月1日以降に全ての運転免許証を自主返納した方

助成内容

最大12,000円 交通系ICカード(PASMO、Suicaなど)への入金費用を助成
※1人1回限り

申請方法

必要書類(申請書兼請求書は交通防犯課、各地区センター、市公式ホームページに用意)を持って市役所2階、同課窓口へお越しください。必要書類や申請方法などの詳細は、同課窓口、各地区センターに用意しているリーフレットをご確認ください。



運転免許証の自主返納の手続きに関する問合せ

埼玉県警察運転免許センター ☎048-543-2001 か 狭山警察署 ☎2953-0110

後付け安全運転支援装置の設置費用を助成します(7月から)

対象

- 市内在住で、申請時点で満65歳以上の方
- 2年4月1日以降に安全装置を設置した方
- 有効期限内の自動車の運転免許証を保有している方
- 市税を滞納していない方

補助対象の安全装置

安全装置の種類

- 障害物検知機能付きペダル踏み間違い急発進等抑制装置
前方か後方の障害物をセンサーが検知し、アクセルペダルが強く踏まれた際に加速を抑制する装置
- ペダル踏み間違い急発進等抑制装置
自動車の停車時や徐行時に、急激にアクセルペダルが踏み込まれた際に急加速を抑制する装置
- ペダル踏み間違い防止装置

※国土交通省の性能認定を受けたペダル踏み間違い急発進等抑制装置で、その製造販売元業者などが認めている取扱事業者などで購入、設置したもの。詳細は国土交通省ホームページへ



▲国土交通省
ホームページ

補助対象の自動車

- 普通、小型、軽自動車で車検を受けている自家用車(事業用は対象外)
- 自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」の欄に申請者の氏名が記載されていること

助成内容

設置費総額(本体+部品+工賃)の1/2(税込み。1,000円未満切り捨て)

上限25,000円

※1人1回限り

※支援の申請期限は、安全運転支援装置の設置日から6か月以内

ただし、設置日が2年4月1日から2年6月30日の場合は、2年7月1日から6か月以内

申請方法

必要書類(申請書兼実績報告書は交通防犯課、各地区センター、市公式ホームページに用意)を持って市役所2階、同課窓口へお越しください。必要書類や申請方法などの詳細は、同課窓口、各地区センターに用意しているリーフレットをご確認ください。

問合せ 交通防犯課へ内線3691

